

委員からの主なご意見

委員からの主なご意見は以下の通りです。

○緑地の形状、傾斜等について

- ・北浜振興会ではまちづくりを検討している。利用上、護岸背後の緑地は出来るだけ傾斜を緩くし、フラットに近いカタチが望ましいと考えている。
- ・実際に利用することを考えると、現在計画の 1:8.3 は傾斜がきついに感じる。
- ・緑地の利用イメージとしては、ボール遊びやお弁当を広げながら憩うなどが考えられる。また、歩くだけではなく、部分的にでもイベントなどの利用も想定し、インフラを含め整備を考えてほしい。
- ・緑地は全面芝生では歩きにくく、革靴で歩けるように護岸まで続く舗装した部分を設けてほしい。
- ・海岸の緑地は、特定の利用を前提にした空間ではなく、利用者が自由に発想して利用できる空間としておくべきである。
- ・傾斜を緩やかにする工夫として、緑地の旅館側の高さを現在の地盤の高さよりも高めに設定することや、緑地全体を一様な傾斜にするのではなく、エリアに分けて部分的に平場を設ける変化を付けるなどが考えられる。今後検討が必要である。
- ・計画にある緑地内遊歩道を設けると、幅員分だけ緑地幅が狭くなるため、緑地の傾斜はさらにきつくなる。この点も考慮する必要がある。

○飛沫防止帯の樹種、密度について

- ・樹種に松が想定されているが、松だけでなく、ビーチサイドのリゾート地のイメージにあう、南方のリゾート地的な樹種も検討してほしい。
- ・飛沫防止帯の高さはホテルの2階レベルになるため、植樹密度が濃いと海が見えにくくなる。飛沫防止帯の機能は理解するが、ホテルから海が見えることは重要であり、水平線が見える程度に樹種、密度を検討してほしい。
- ・樹種は、松以外にも検討の余地はある。ただし、海岸環境に適応し、防護機能を有することが条件である。

別府港海岸景観検討会委員名簿

◎齋藤 潮	東京工業大学 大学院 社会理工学研究科 教授	三代 清六	大分県 別府土木事務所長
上島 顕司	国土交通省 国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港ターミナル研究室長	南 明	大分県 土木建築部 参事兼港湾課長
			※◎印は委員長、敬称略・五十音順
小川 雅代	べっふ旅館女将の会 (協) 理事長	(国土交通省関係者)	
小出 英治	北浜振興会 会長	佐々木 政彦	国土交通省 九州地方整備局 港湾空港企画官
佐藤 勝利	北浜2丁目自治会 会長	濱田 浩二	国土交通省 九州地方整備局 沿岸域管理官
菅 健一	NPO別府八湯トラスト 代表理事	久米 英輝	国土交通省 九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所長
高橋 邦洋	別府市 建設部長	渡邊 幸徳	国土交通省 九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所長
高平 憲吉	北浜3丁目自治会 会長		
古庄 剛	別府市 ONSENツーリズム部長		

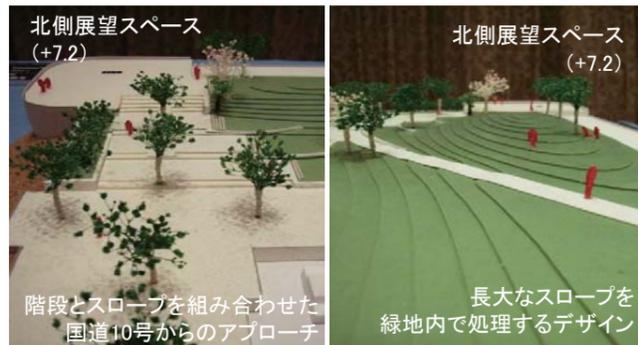
お知らせ

第12回ワークショップ（北浜地区）は2月26日（金）に国際交流会館にて開催致します。詳細については後日ご案内致します。

※別府港海岸の整備に関する情報は下記別府港湾・空港整備事務所ホームページに随時掲載していきます。是非ご覧下さい。
<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/beppu/index.html>

○展望スペースまでのスロープについて

- ・北側展望スペースまで身障者やお年寄りも利用しやすいスロープを設けてほしい。お年寄りは階段を利用しない。避難経路としても機能するよう直線にして欲しい。
- ・スパビーチ側に整備予定の仮設道路の計画高（+4.2m）と緑地上部の展望スペースの高さ（+7.2m）は高低差が3.0mあり、基準である1/12勾配で処理するには延長36mのスロープが必要となる。延長が長い場合は、間に平場を設けなければならない、さらに長さが延長される。長大な構造物は、それ自体が景観を損なう可能性もあり、直線で処理するだけではなく、緑地の中に取り込むカタチで線形やデザインを検討したい。



○スパビーチ側の工事前仮設道路について

- ・的ヶ浜公園のトイレ周辺は、樹木が密集して見通しが悪く子ども達にとって危険であり犯罪が起こりやすい状況にあることやイベント時に混雑して危険であるなど課題が多い。仮設道路の設置を生かし国道10号から海岸までの一連の空間として、協力して良い空間をつくるよう対応してほしい。
- ・工事前仮設道路はあくまでも仮設のもので、的ヶ浜公園部分は工事完了後、現状復旧する。公園の改修については本事業とは別事業である。

○検討体制について

- ・様々な解決すべき課題や要望があるにもかかわらず、検討するための時間が短すぎる。もう少し検討時間をとってほしい。

別府里浜づくり新聞

第29号
平成22年
1月18日

第1回別府港海岸景観検討会を開催しました

別府港海岸（北浜地区）の整備計画の検討は、平成13年度、14年度の別府港海岸3地区（北浜、餅ヶ浜、上人ヶ浜）の検討にはじまり、これをもとに、平成16～18年度に別府港海岸整備検討委員会、幹事会及びワークショップを開催し、学識経験者、住民の方々及び行政関係者と検討を重ね、整備基本計画（案）を策定しました。さらに、平成19年度には、この整備基本計画（案）について水理模型実験を行い、その結果を踏まえ、最終基本計画を策定しました。平成20年9月にはこの最終基本計画について、地域の方に対して報告会を行いました。

今年度は、最終基本計画をもとに、水叩きや飛沫防止帯、緑地部分の具体的な整備内容を整理し、施設配置・デザイン計画（案）のとりまとめを行います。なお、これまでに引き続き、市民の皆様にご参加頂くとともに、専門的知見を加えた検討を行うために、「ワークショップ」及び「検討会」により検討を進めます。「検討会」は、景観に関する学識経験者、住民代表及び行政関係者により構成されます。

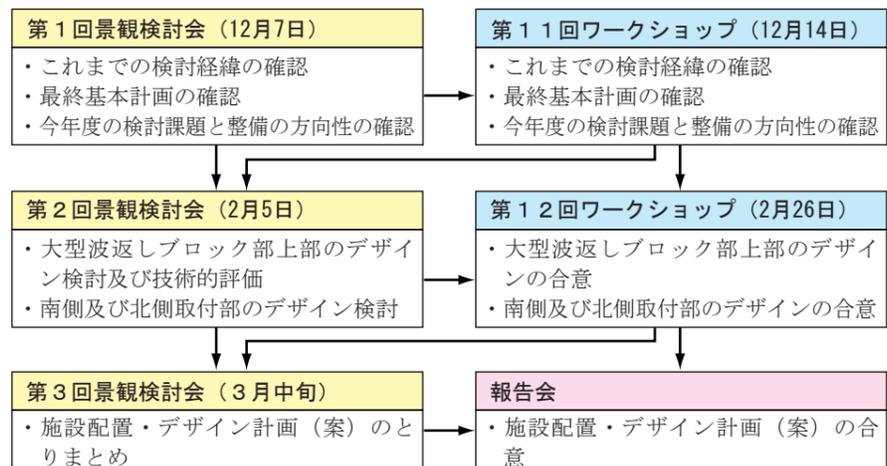
別府港海岸景観検討会の第1回目を、平成21年12月7日（月）午後1時より、ゆわいの宿竹乃井にて開催しました。今回の検討会では、これまでの検討内容を報告し、今年度の検討課題や整備の方向性について確認を行いました。

検討会の概要

検討会では、まず、これまでに策定された最終基本計画に関する検討経緯を報告しました。（詳細は、別府里浜づくり新聞第14号～第21号を参照ください）。平成18年度に策定した整備基本計画（案）では、防護、環境、利用、景観の観点から、水産協調や安全性、維持管理などに配慮して、総合的な検討を加え護岸の形状を決定しました。その後、平成19年に行ったより詳細な水理模型実験により、防護機能が不十分な箇所が確認されたため、部分的に整備内容を変更し最終基本計画を策定しました。この最終基本計画を提示し、整備基本計画（案）からの具体的な変更箇所について説明を行いました。次に、周辺事業の概要として、現在整備中であるヨットハーバーの改修事業、既に整備を終えた北浜公園の改修、現在別府市と北浜振興会を中心に勉強会による検討を進めている北浜地区のまちづくりについて説明を行いました。最後に、今年度の検討課題と整備の方向性について確認頂き、それぞれの内容について、委員の方々からご質問、ご意見を頂きました。

検討スケジュール

景観検討については、以下のスケジュールで「検討会」3回、「ワークショップ」2回を開催し、さらに施設配置・デザイン計画（案）決定後に、報告会を行う予定です。



- ＜第1回 別府港海岸景観検討会会次第＞
1. 開会
 2. 主催者挨拶
 3. 委員紹介
 4. 委員長挨拶
 5. 議事
 - (1) これまでの検討経緯について
 - (2) 周辺事業の概要
 - (3) 今年度の検討課題と整備の方向性
 6. その他、連絡事項等
 7. 閉会



検討会の様子



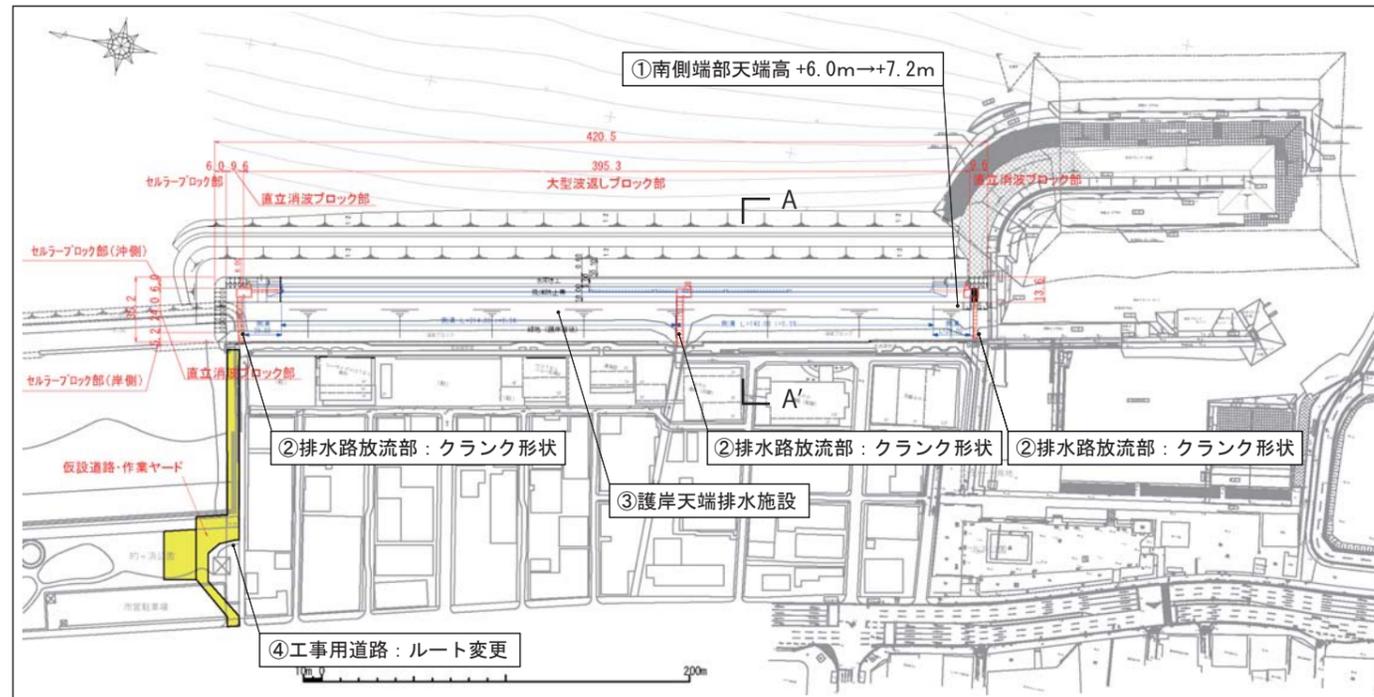
齋藤委員長の挨拶の様子

最終基本計画の主な変更事項の整理

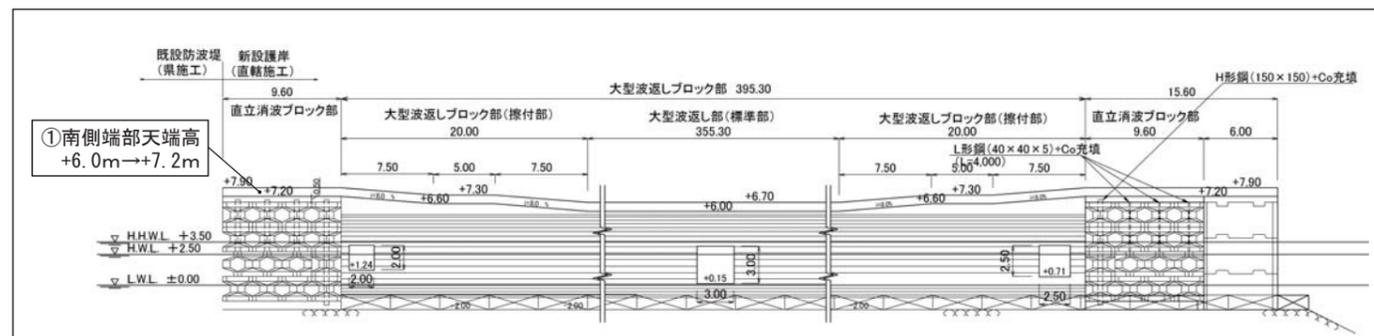
平成18年度に策定された整備基本計画（案）をもとに、平成19年度に水理模型実験を実施し防護機能の検証を行いました。その結果、南側端部及び、大型波返しブロック部の一部区間で防護上必要な許容越波流量を満たさないことが明らかになりました。そのため、整備基本計画（案）から以下の点を変更し、平成19年度に最終基本計画を策定しました。この平面計画と実施断面について今後の検討を行います。

最終基本計画の主な変更点

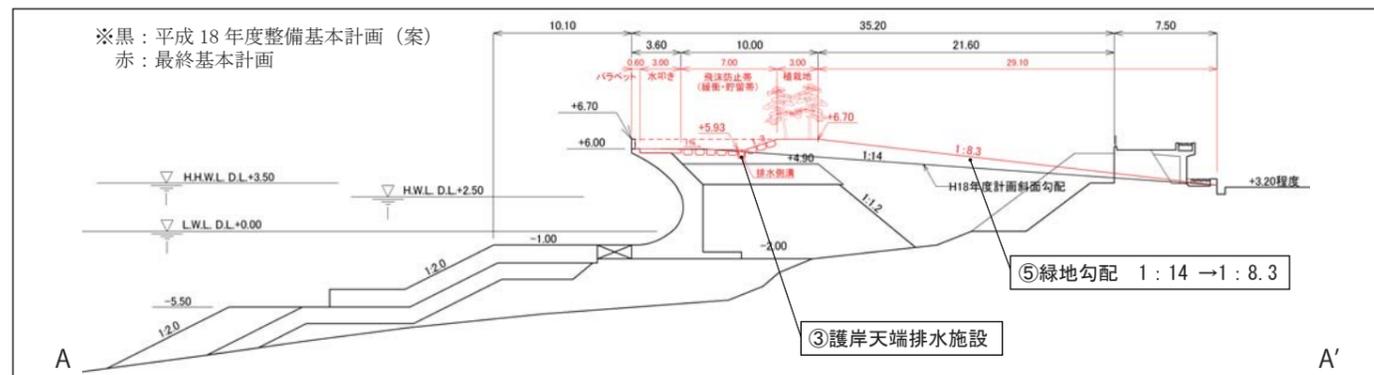
- ①南側端部の天端高 +6.0m → +7.2m に嵩上げ
- ②排水路の放流部をクランク形状とする
- ③護岸天端（飛沫防止帯部分）に排水施設を設ける
- ④スパビーチ側に整備する工事用道路のルート変更
- ⑤緑地勾配 1:14 → 1:8.3 に若干傾斜がきつくなる



北浜地区平面計画図



最終基本計画正面図



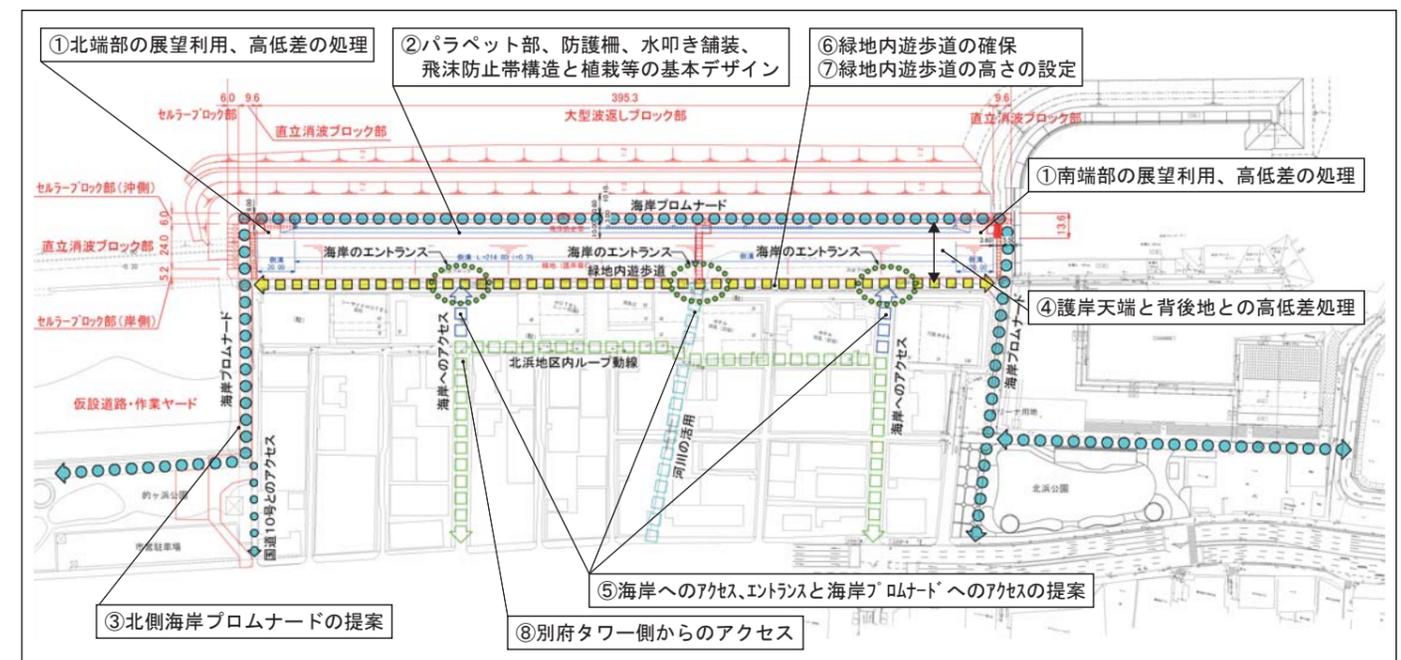
最終基本計画断面図（大型波返し護岸部分）(A-A')

検討課題と整備の方向性

北浜地区の整備に関する検討課題と整備の方向性は、以下の通りです。

検討課題と整備の方向性

- 護岸構造のデザイン検討
 - ①空間デザイン：南北端部の展望利用、南北端部等での高低差の処理、飛沫防止帯及び緑地境界部の地形デザイン等
 - ②パラペット部と防護柵、水叩き舗装、飛沫防止帯構造と植栽等の施設の基本デザイン
- 港湾緑地計画との連携の提案
 - ③工事用仮設道路を転用した北側海岸プロムナードの提案
 - ④護岸天端及び背後地との高低差処理（南北端部、市道隣接部、河川流入部、民地隣接部等）の提案
 - ⑤海岸へのアクセス、エントランスと海岸プロムナードへのアクセスの提案
- 北浜地区まちづくり計画への配慮
 - ⑥緑地内遊歩道の確保（背後地から海岸へのアクセス確保）
 - ⑦緑地内遊歩道の高さの設定（背後地との高低差、河川河口横断面部）
 - ⑧別府タワー側の通りからのアクセス（現在、民有地）



検討課題と整備の方向性

周辺事業の概要 ～北浜地区まちづくり～

別府市と北浜振興会では、高潮対策事業を契機としたまちづくりの勉強会を行っています。勉強会では、今後の北浜地区の観光まちづくりの方向性を以下のように整理し、「海に開かれた温泉リゾート地」を観光まちづくりのテーマとして北浜地区の整備の方向性を検討しています。

今後はこれらの北浜地区のまちづくりの動向を参考に意見交換を行いつつ、背後地と一体的な整備を進めていきたいと考えています。

- 新たに整備される国、県の海岸及び緑地整備にあわせ、周辺のヨットハーバー、スパビーチの海岸資源を生かした海辺に開かれた温泉リゾートの形成
- 次世代観光地として必要とされる道路、公園、共同駐車場等の公共公益施設の整備
- 地区内への来訪者増加を目的とした地区周辺の観光・集客施設と連携した地域の回遊性の向上



北浜地区整備の方針イメージ
(資料：北浜振興会勉強会資料)